

墓地等に関する意識調査 アンケート結果

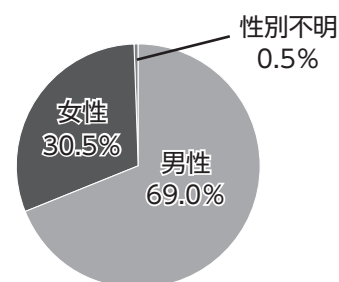
■問合せ 住民課住民・戸籍年金グループ(☎ 74-3002)

1 月 31 日を期限に実施した「墓地等に関する意識調査」のアンケート結果がまとまりましたので、お知らせします。

町内に住む 20 歳代～ 70 歳代の世帯主 1, 000 人を無作為に抽出し、墓地の所有状況や墓地需要の動向、さらに今後需要が高まると予想される合同墓地（合葬墓）に対する皆さんの意識を調査しました。

■アンケート回答者の内訳

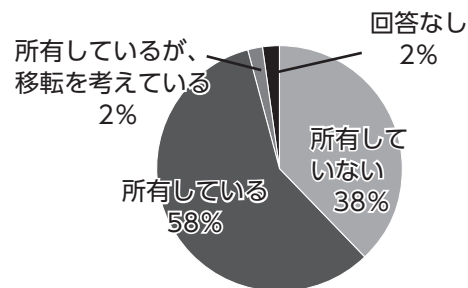
- ・男性 287 人 (69.0%)
 - ・女性 127 人 (30.5%)
 - ・性別不明 2 人 (0.5%)
- ※回答率 41.6% (回答者数 416 人)



お墓の所有状況

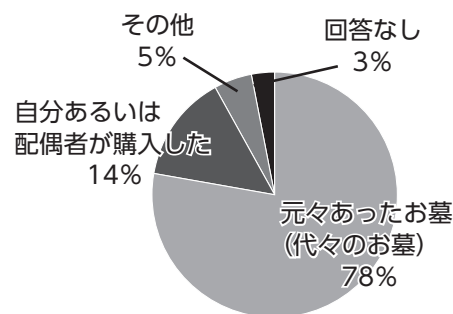
「所有している」もしくは「所有しているが、移転を考えている」と答えた人を合計すると 60%となり、半数以上の世帯で所有していることがわかりました。

一方で、「所有していない」と答えた人が 38%で、約 4 割の世帯主が所有していないこともわかりました。



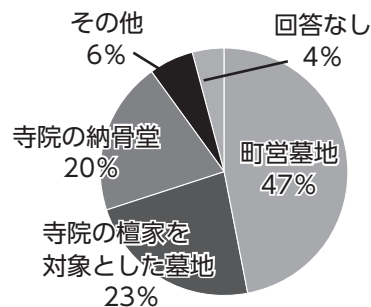
お墓を所有した経緯

「元々あったお墓(代々のお墓)」と答えた人が約 8 割で先祖代々のお墓を継承している世帯が多いことがわかりました。
※お墓の所有状況で「所有している」または「所有しているが移転を考えている」と回答した人への質問



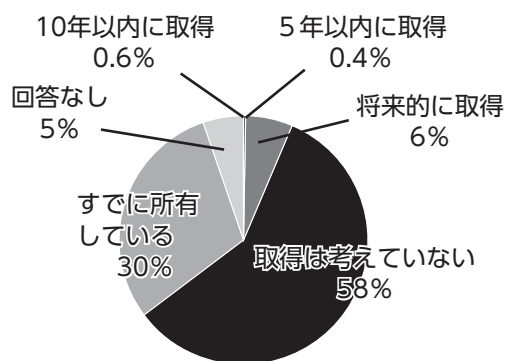
所有しているお墓の種類

「町営墓地」と答えた人が最も多く、次いで「寺院の檀家を対象とした墓地」、「寺院の納骨堂」の順となり、町営墓地を利用している人が約半数を占める結果となりました。 ※お墓の所有状況で「所有している」または「所有しているが移転を考えている」と回答した人への質問



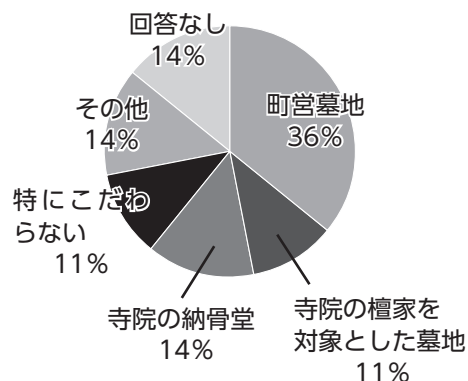
お墓の取得の検討

「お墓の取得を検討していますか？」という質問に対して、「すでに所有している」と回答した人が3割、「5年以内」「10年以内」または「将来的に取得を検討している」と回答した人の合計が約1割となっている半面、約6割の人が取得を考えていないと回答しました。



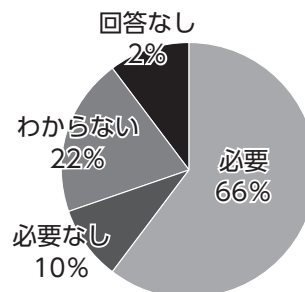
取得する墓地の運営体系

「お墓を取得するとしたら、どのような形態を希望しますか？」という質問に対して、「町営墓地」と回答した人が約4割を占め、「寺院や檀家を対象とした墓地」「納骨堂」「こだわらない」などと回答した人がほぼ同数となりました。



合同墓地(合葬墓)の必要性

合同墓地(合葬墓)の必要性に関する質問に対して、7割近くの人が「必要」と回答しました。近年は少子高齢化などの影響により、お墓や納骨堂の継承者がいない人も多く、町民が共同で利用できる合同墓地(合葬墓)への関心が高まってきていることがわかりました。



調査を通して

今回のアンケート結果から、合葬墓に対する町民の意識が高いことが読み取れ、特に、虻田地区では、その傾向が顕著に現れていました。

合葬墓の需要が一定程度あると確認されたため、町では、町にふさわしい合葬墓の形態や規模、場所の選定など課題の洗い出しを行い、合葬墓の設置に向けた検討を進めていきます。

※詳細なアンケート結果は町ホームページに掲載しています。



ワンポイント 手話



毎月、職員が今月の手話を紹介します。
第44回目はジオパーク推進課加賀谷にれです。

■問合せ 健康福祉課福祉・高齢者グループ (☎ 74-3001)



両手の手のひらを開いて、指先は下に向けます。

「雨」



同時に2回下します。
雨がザーザーと降っているイメージです。